

猫と犬との住まい

2017.4.4 Tue

17:00 ~ 20:00

会場 / AGC studio

東京都中央区京橋 2-5-18 京橋創生館 2 階

参加費 / 無料 定員 / 50 名

趣旨説明：三浦研（京都大学教授）

主題解説：いしまるあきこ（いしまるあきこ一級建築士事務所）

講演：奥野卓司（関西学院大学 教授、人類学者）「家族の中のペットの意味」

山田昌弘（中央大学 教授、社会学者）「猫と犬との家族論」

金巻とも子（かねまき・こくぼ空間工房、建築家）「猫と犬の住まい」

猫や犬が「家族」や「子ども」と呼ばれるようになってから月日は流れた。猫や犬の家族化が進み、人間の家族や仲間と同じように彼ら・彼女らと共に過ごす人が増えている。いわゆるペットブームがあり、昨今の猫ブームが起きたあと、彼ら・彼女らはどうしているのだろうか。

2003年に内閣府が行った「動物愛護に関する世論調査」によると、犬や猫を飼う理由が、「役立つ」という回答は1983年の13.9%から2003年の9.9%に減り、「気持ちやわらぐから」という回答は1983年の19.4%から2003年の47.9%へ大きく伸びている。防犯のための番犬や、紙や穀物を守るねずみ取りの猫といったイメージは消えつつある。

2013年に一般社団法人ペットフード協会が行った「全国犬・猫飼育実態調査」によると、全国で2061万頭（犬1087万頭+猫974万頭）の犬や猫が1415万世帯（約4世帯に1世帯）によって飼われている。総務省統計局によると、2013年4月1日の人間の子どもの（15歳以下）の数は1633万人（男子836万人、女子797万人）で、日本には人間よりも多い猫や犬の“子ども”たちがいることになるのだ。

猫と犬が暮らすさまざまな住まいから、まだまだ発展途上の猫と犬の住まいを省みつつ、人間の抱える問題も見つめながら、いま、求められ、生み出すべき「猫や犬との住まい」を考えたい。

すまいろんシンポジウム

87

企画：住総研 すまいろん編集委員会 / 主催：一般財団法人 住総研

お申込み：ホームページよりお申込みください。

<http://www.jusoken.or.jp/symposium/sumaisympo.html>

住総研では「すまいろん」発刊に伴いすまいろんシンポジウムを開催しています。

一般財団法人 住総研

<http://www.jusoken.or.jp/>

e-mail sumairon@jusoken.or.jp

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8

TEL：03-3484-5381